

豊里



### 交通事故事故ゼロ4千日達成

豊里地区の「交通事故抑制功労表彰」は9月2日、豊里公民館で開かれ、豊里地区交通安全推進会議の千葉幸一会長から豊里地区コミュニティ推進協議会の佐々木信義会長へ褒状が贈られました。

豊里地区は、2010年9月15日から交通事故ゼロを継続し、8月28日で4千日を達成。佐々木会長は「さらに地域一丸となり、今後も交通安全の啓発に努めていきます」と決意を述べました。

### 陶芸教室で芸術の秋を感じる

「吉田陶芸教室第2回学習会」(吉田公民館主催、渥美英夫館長)は9月17日、吉田公民館で開かれ、事前に応募した10人が参加しました。

参加者は、東和焼瑞樹窯の笠政彦さんから指導を受けながら作品づくりに挑戦。それぞれが作りたい作品をイメージしながら指先に神経を集中し、陶芸の楽しさを体験していました。作品は、東和焼瑞樹窯で焼き上げられ、10月末頃には、作成者それぞれの手元に届く予定です。



米山

# 9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



### 佐沼地区死亡事故ゼロ3千日

「交通事故ゼロ3千日表彰式」は8月31日、迫公民館で開かれ、及川仁迫総合支所長から佐沼地区コミュニティ推進協議会の岩淵浩会長へ褒状が贈られました。

佐沼地区では、2013年6月から交通事故ゼロを継続しており、8月30日で3千日を達成。岩淵会長は「交通量の多い佐沼地区で交通事故ゼロ3千日を達成できたのは地域皆さんのおかげ。今後も記録を伸ばしていきたい」と決意を新たにしました。

石越



### 地域住民の力で学校を支える

学校支援ボランティアが9月17日、石越小学校(阿部剛校長、児童186人)の図書室で、本の貸出や蔵書の整頓に協力しました。

学校支援ボランティアは、地域住民が学校からの依頼により学校運営の支援をする活動。当日は同校の児童3人が本を借りて図書室を利用しました。ボランティアの参加者は「子どもたちが本を借りに来てくれると、活気が出てうれしい」と目尻にしわを寄せながら話しました。

### 食事と運動でつくる健康な体

「とよま元気もりもり教室」は9月30日、登米公民館で開かれ、地域住民24人が参加しました。

参加者は、市職員から食べ物の栄養について、東北文化学園大学の犬塚剛准教授からは筋肉や体力について受講。参加者は、講習の内容を自身の生活に当てはめ、うなずきながら講話に聞き入っていました。講習の中で、実際に歩幅や腕の振りを意識したウォーキングも実施。日々の生活の中の運動や食事の大切さを改めて学びました。



登米

### 地域を照らす元気なあいさつ

「あいさつ運動」(青少年のための登米市民会議南方支部加藤敬一会長)は8月26日、南方町内各小・中学校で実施され、同支部役員と行政区長の26人が参加しました。

この運動は、健全な青少年を育成することを目的に実施しており、当日は今年度二回目の実施。始業式だったこの日、児童たちは友達との久しぶりの再会に心を躍らせながら、暑さに負けない元気いっばいの声で「おはようございます」とあいさつを交わし、地域を明るくしていました。



南方

東和



### モノづくりの過程を木で学ぶ

「起業学習・木工技術指導」は8月5日、東和森林組合で開かれ、東和中学校(千葉純子校長、生徒116人)の生徒6人がペン立ての作成に取り組みました。

生徒たちは、森林組合職員から金づちやのこぎりなどの道具の使い方や森林組合の仕事、山や木、森林の役割などを学んだあと、ペン立ての作成に取り掛かりました。木を紙やすりで削り、くぎを打つのに悪戦苦闘しながら、モノを作る大変さを体験しました。

津山



### SNSに映える160個の風鈴

柳津虚空蔵尊では7月1日から秋の彼岸頃まで、境内の竹棚に風鈴が飾り付けられました。

風鈴を飾るのは今年が初めての取り組み。参拝客は、涼やかな音色に足を止め、夏のひとときを楽しんでいました。この取り組みは若い世代を中心にSNSで広がり、約160個の風鈴を見に、平日も多くの人を訪れました。同院寺庭の杉田史さんは「今後も楽しんでもらえるような企画を考えているので楽しみにしててください」と話していました。

### あいさつで気持ちの良い日に

「あいさつ運動」(青少年のための登米市民会議中田支部主催、羽生進会長)は8月26日、中田中学校と中田町域の5小学校で開かれ、約40人が参加しました。

あいさつ運動は、誰もが気持ちの良い元気なあいさつを交わす環境をつくることで、子どもたちの登下校時や生活の安全を守ることを目的に、2学期の始業日に合わせて実施。参加者と子どもたちは、お互いに気持ちの良いあいさつを交わして、新学期を迎えました。



中田